



Eiche

# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナーシングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

## 2008 年年次総会開催



講演する浜本室長

2008.05.17



全員で記念写真

2008.05.17

平成20年5月17日(土)14:00・於西船フローラ 34名  
 本年の年次総会も例年通り、西船フローラにて開催された。松崎事務局長の司会で昨年同様、綿貫尚理事を議長に選出、平成19年度事業報告、決算報告、監査報告、平成20年度事業計画案・および予算案は提案どおり承認された。又、役員人事に関しては、舘野鷹二郎氏が新しく理事に選出される一方で、石崎満、金子三智子、桑島功の3氏が辞任された。その後、平尾会長より総会前日に(財)日独協会から、来年の全国日独協会連合会年次総会を千葉県にて開催していただきたいとの連絡があったが、この諾否は役員会に一任していただきたいとの提案があり、本件も承認された。休憩を挟んで、記念講演会に移り、千葉県総合企画部国際室の浜本憲一室長が「千葉県の国際交流政策」と題して、講演(下記)を行なった。途中から臼井日出男名誉会員も来場し、懇親会にも参加された。その懇親会では恒例により、顧問の小野寺和夫東大名誉教授に乾杯の音頭をお願いして約1時間半にわたり交流を深め、全員で記念写真を撮って17:30に終了。一部会員は、更に駅近くの居酒屋で2次会を楽しんだ。

### 「千葉県の国際交流政策」

千葉県総合企画部国際室長 浜本憲一

「ちば二〇〇八年アクションプラン」において千葉県は「国際化時代の千葉県の確立」を目指し、施策を進めています。組織としては企画総務部の中に初めて国際専門の国際室が設けられました。本日は千葉県日独協会総会に掲題のお話をする機会を頂き有難うございます。自己紹介致しますと、両親は四国出身で、私が生まれたのは東京の下町ですが、育ちは八千代と千葉をふるさととする人間です。

さて、千葉県は昭和二〇年には人口二〇〇万人でしたが、現在は六〇〇万人、外国籍の県民は約一〇万人で全人口の一、六%、全国の割合とほぼ同じです。経済、産業分野は商工労働部の比重が高くなりますが、全体の総合調整、国際交流・協力、外国籍県民へのサービスは国際室が中心となって進めています。北方領土問題、北朝鮮問題、米軍問題等外交問題も当室の業務に含まれます。

千葉県とデュッセルドルフ市との交流関係は本日同行の小野主査が担当しており、昨年に引き続き今年も六月十四日に現地で開催される日本デーに参加いたします。

また、目下進んでいる事業では来年四月に開校する幕張インターナショナルスクールと本年九月に公演予定の日本メキシコ友好四〇〇周年記念オペラ「夕鶴」です。インターナショナルスクールは国際的な日本人の養成と県内在住の外国人の子弟教育を目的に県や県内企業の支援の下に幕張新都心に開校するものです。

(裏へ続く)

—今後の主な催し物案内—

1. 岩崎英二郎先生講演会(詳細は別紙)

ドイツ語学の権威岩崎先生の講演です。

日時：2008年7月12日(土) 15:30~17:30

場所：千葉市生涯学習センター 大研修室(3階)

JR千葉駅東口より徒歩10分

(会場への案内標識あり)

TEL: 043-207-5811

演題：『ドイツ語のむずかしさ・おもしろさ』

懇親会：17:30~19:30

場所：レストラン「ベネチアン」(同センター1階)

TEL: 043-256-7809

会費：3,000円

出欠は同封のハガキで6月30(月)までに必着にてご返送下さい。「出席」取り消しは7月10日までに必ず事務局にご連絡下さい。

2. グローバルフェスタ Chiba に出展

昨年に続き第2回の今年も、国際協力、国際交流を行う団体が日頃の活動成果を発表するこの催しに当協会も出展します。

日時：8月23日(土)

場所：千葉大学 けやき会館

JR総武線 西千葉駅東口より徒歩6分

入場料：無料

3. チター演奏会

恒例のチター演奏会を下記要領にて開催致します。

演奏：内藤敏子先生

日時：9月20日(土)14:00~

場所：JR総武線 津田沼駅西口前 銀座アスター

会費：未定

◎平成20年度年会費の納入を御願ひ致します。

前号のDie Eiche送付時に個人年会費3,000円の郵便振込み用紙を同封しております。お手持ちでない方は郵便口座記号番号00180=4=30279千葉県日独協会宛に振り込み下さい。

訃報

デュッセルドルフ市のエルヴィン市長は5月20日に逝去されました。茲に謹んでご冥福をお祈り致します。

お知らせ

1. 日独学生交流プログラム案

①千葉県日独協会は千葉県とデュッセルドルフ市との交流に沿い、同市にある独日協会アム・ニーダーラインと日独学生交流プログラムを進める。

②基本方針は、少人数の若人を同市より迎え、日本の歴史、文化、社会の現状を研修する為の滞在とし、当面日本からの派遣は行なわない。③このプログラムの開始は本年8月とし、研修生は原則2名の同姓、年齢は17才~21才、期間は10日~14日を目安とする。

④研修地は千葉県内とその周辺とする。

⑤費用は、往復の航空運賃を派遣側が負担し、滞在中の費用を受け入れ側が負担する。

2. 全国日独協会連合会年次総会開催

4月15日にJR総武線四ツ谷駅前「スクワール麹町」にて開催。(財)日独協会の古森会長が議長となり、デア駐日ドイツ大使、ゲーリック文化部長、トークラー一等参事官、アーメルンク総領事参列の下で①連合会規約改正を承認。②新規約に基き、新会長に古森現会長、会長代行に木村敬三(財)日独協会副会長を選出、また連合会の副会長には現行の7日独協会会長が議長により指名された。その後、③参加26協会の19年度活動報告などを行なった。

3. 「日独パートナー会議」参加ツアー

2005年(ドイツ年)にドイツから90名の独日協会会員が名古屋万博見物を兼ねて来日した際、3年毎に交互に訪問することが決まり、本年は4月19日、24日と2班に分かれて当協会他7協会47名が木村(財)日独協会副会長(元駐独大使)を団長として訪独。ベルリン、ポツダム、ハレ、ブロッケン山、ビーレフェルト、ケルン、デュッセルドルフ、カールスルーエ、ストラスブルグ、ザールブリュッケン、フランクフルトと回り、各地で日独協会、公的機関に歓待され5月8日に帰国した。

オペラ「夕鶴」は四〇〇年前に御宿沖で難破したメキシコ船の乗組員を御宿村民が救助した史実を記念する公演です。

さて、デュッセルドルフ市との関係は、ドイツ年の二〇〇五年にデュッセルドルフ市からアプローチがあり、以降デュッセルドルフ市から交響楽団が二度、また二〇〇七年にはU-17サッカーチームが来葉、千葉県からは二〇〇六年、堂本知事が女子サッカーチームとともに訪独しました。

今年には千葉県日独協会有志の参加も得て日本デーに参加、夏休みにはU-15女子サッカーチームと国体選抜高校卓球チームが訪独します。また来年三月には千葉県少年少女オーケストラが訪独し現地にて公演予定です。交流は経済、健康福祉、文化、スポーツ、農林水産、まちづくり、環境と多岐に亘り、千葉大学も昨年デュッセルドルフ大学と大学間協定書を取り交し、学生の相互留学を開始します。行政同士の交流とともに、大学や民間の交流に大いに期待しています。

ヨーロッパにおけるデュッセルドルフ市の重要性は千葉県としても以前から意識していたところであり、同市のJETROには二年交代で職員を派遣して来ました。今後とも交流を深めていきたいと考えており、千葉県日独協会には、引き続きご協力の程、よろしく御願ひ致します。